

WHO 派遣事業報告

群馬大学多職種連携教育研究研修センター（WHO 協力センター）の事業の一環として、2024 年 10 月 28 日（月）から 2025 年 4 月 27 日（日）までの 6 か月間、世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局（WPRO）において業務に従事する貴重な機会をいただきました。

派遣期間中は Health Policy and Service 部門の Long-term care（LTC；長期ケア）に配属され、WPRO のスタッフの先生方および群馬大学 WHO 協力センターの先生方のご指導のもと、西太平洋地域における主に中所得国の長期ケア政策に関する調査・分析・報告書作成などに従事しました。

西太平洋地域では人口高齢化が急速に進行しており、多様な健康状態にある人々に対して継続的かつ包括的な医療・福祉サービスの需要が一層高まっています。特に中所得国では、高齢化のスピードに制度整備が追いつかず、持続可能で統合的な長期ケアシステムの構築が喫緊の課題となっています。こうした状況を踏まえ、本派遣では各国の実態を体系的に整理した「LTC Situation Assessment Database」の作成に取り組みました。これにより、長期ケアシステムの現状と課題を可視化し、今後の制度設計や政策提言に資する知見の提供を目指しました。

今回の派遣は、これまで十分に取り組む機会のなかった「長期ケア」という分野に挑戦する大変貴重な経験となりました。長期ケア制度に関する情報を包括的に収集・分析できただけでなく、各国の医療政策や文化的背景への理解を深め、国際的かつ多角的な視野を培うことができました。また、本業務は本学 WHO 協力センターが実施する若手教員派遣事業の一環でもあり、得られた知見や経験は、西太平洋地域諸国における多職種連携教育セミナーのさらなる充実・発展に寄与できるものと確信しております。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださいました群馬大学 WHO 協力センターの先生方、ならびに派遣期間中に多大なるご支援を賜りました保健学研究科の先生方に、心より御礼申し上げます。

群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション学講座
研究科講師（助教）野口 直人